

施設の安全対策

ホームの安全対策

ホームでの事故を防ぐために、さまざまな対策を行っています。

① 駅係員よびだしインターホン・防犯ボタン



駅係員よびだし
インターホンの
案内看板

駅係員よびだしインターホン



防犯ボタン

駅係員、警備員によるお手伝いが必要となった際に通報いただける、駅係員よびだしインターホンや防犯ボタンを、ホーム上やトイレに設置しています（押しても列車は止まりません）。



駅構内で不審物や不審者を発見した時や、トラブル発生時、また具合が悪そうなお客さまを見かけた際などに押してください。



② 非常停止ボタン



非常停止ボタン
案内看板

非常停止ボタン

列車との接触事故を防ぐため、東急線 81 駅のホーム※に非常停止ボタンを設置しています。ボタンを操作すると、付近を走行する列車は異常を知らせる信号を受信し、運転士は列車を緊急停止させます。

お客さまはボタンを操作しても絶対に線路へ降りないでください。

※目黒線、世田谷線を除く



もしも線路に人が転落したら、非常停止ボタンを押して通報してください。

③ 点状ブロック



内方線付き
点状ブロック

目の不自由なお客さまに安全にご利用いただけるよう、ホーム上にホームの端を示す点状ブロックを設置しています。このうち、ホームドアの付いていない駅には、どちらがホームの内側か分かるよう点状ブロックの内側に線状の突起（内方線）がある内方線付き点状ブロック（ホーム緑端警告ブロック）を設置しています。

④ ホーム先端部塗装



ホームの先端部をオレンジ色に塗装し、線路転落や、列車とホームとの隙間への転落を防ぐため、お客さまへの注意喚起を行っています。ホームにも足元注意ステッカーの表示を行っています。

⑤ ホームドア



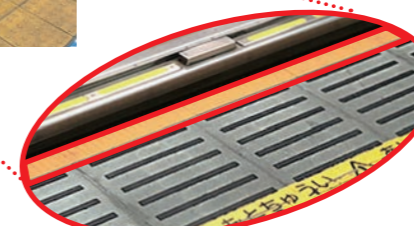
お客さまがホームから転落したり、列車と接触したりする事故を防止するため、東横線・目黒線・田園都市線・大井町線の全駅にホームドアを設置しています。また、池上線・東急多摩川線の全駅には、センサー付固定式ホーム柵を設置しています。



⑥ 転落防止ゴム



お客さまが足を踏み外して列車とホームとの隙間に転落しないように、ホームの側面に隙間を狭めるための転落防止ゴムの設置を順次進めています。



⑦ 転落報知器



ホームの下に転落報知器を設置しています。万が一お客さまがホームと列車のすき間から転落すると、センサーが作動し駅係員や乗務員に警報音で知らせます。

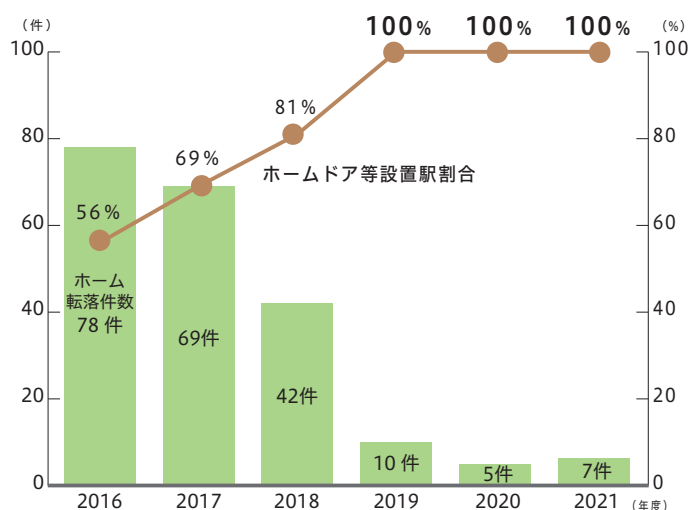
全駅へのホームドア設置

2019年度末までに東急線全駅※にホームドア・センサー付固定式ホーム柵の設置を完了させ、ホーム上の安全性向上、安定運行に大きく寄与しています。

※世田谷線・こどもの国線を除く

▶ホーム転落件数とホームドア等設置駅割合の推移

ホームドア等の設置に伴い、ホームからの転落件数が大きく減少しています。



●安全にご利用いただくための、お客さまへのお願い

より安全にホームドアをご利用いただくために、お客さまへのお願いや注意喚起を、さまざまな形で行っています。

ホームドアから身を乗り出したり、ホームドアに物を立て掛けたりすることによる事故などを防止するため、注意事項をステッカーにして貼付し、お願いと呼びかけを行っています。



ホームドアの注意事項ステッカー

駅構内の安全対策

お客さまに安心してご利用いただけるよう、さまざまな対策を行っています。

●防犯カメラ

駅構内の状況確認や犯罪抑止を目的として、ホーム、改札口、券売機、定期券うりばなどに防犯カメラを設置しています。



駅構内の防犯カメラ

●地下駅の火災対策

国土交通省の基準に基づき、2通路以上の避難通路の確保や、火災時におけるホーム階の排煙のための非常電源設備の設置などの対策を、全ての地下駅で実施済みです。



避難通路（非常口のご案内）の表示を大きく分かりやすくしました

●停電対策

列車運行に必要な電力は、沿線に設置した複数の変電所から供給しており、一部の变電所が停電しても列車の運行は確保できます。また、全ての電力供給がストップし、駅間で列車が停止する状況になった場合でも、車両に搭載したバッテリーにより車内の非常照明や放送設備などは正常に機能します。

地下駅では停電に備えて非常用発電機を設置しており、トンネル内を含めた非常照明や駅放送設備など、防災上必要な機能が確保されています。



停電時に稼働する駅の非常用発電機

●駅係員、警備員などによる安全確認

日ごろから、定期的に駅係員および警備員などが駅構内を巡回し、不審物、施設の不備などお客さまに危険がおよぶ箇所がないか、確認、警備を実施しています。

また、お客さまの流れの変化などに対応し、警備体制の見直しを行っています。



駅構内の巡回

●掲示物の点検

駅構内の総合案内板、駅構内図や駅周辺案内図などの掲示物については、落下を未然に防ぎ、お客さまの安全を確保するため、定期的に目視と触手による点検を実施しています。



駅構内の掲示物

車両・車内の安全対策

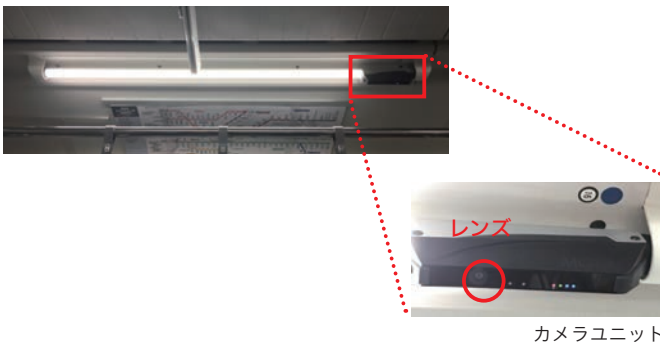
お客さまに安心してご乗車いただけるよう、さまざまな安全対策を行っています。

● 車内防犯カメラ

LED蛍光灯一体型の防犯カメラを全車両に導入しています。遠隔地からでも映像を確認することが可能です。全車両への導入を通して、車両内のセキュリティ向上および車両内トラブル発生時の対応の迅速化を図っています。

※プライバシーの保護について

防犯カメラを設置している車両であることをお客さまへ周知するステッカーを、車内に掲出しています。記録映像の閲覧については、閲覧できる社員を限定するなど、関係法令や社内規程に則り厳重に管理します。



● ドア注意喚起シール

乗降時のお客さまのドアはさまれおよび引き込まれ防止のため、乗降口端部と戸先を容易に認識できる黄色いラインの注意喚起シールを貼付しています。



● ドア引き込まれ 注意喚起ステッカー

ドア開閉時のお客さまの引き込まれ防止のため、すべる素材を使用した車内ステッカーを貼付しています。新形式車両（2020系、3020系、6020系）については、ドア自体にすべる素材を採用しています。



● ガラス破損のリスク低減策

車両ドアは、ドアガラス破損防止のため強化ガラスおよび複層ガラスを使用しています。また、割れたガラスが飛散しないように透明の飛散防止フィルムを貼り付けて安全性向上を図っています。飛散防止フィルムには夏場の遮熱、冬場の断熱にも高い効果があり、空調消費電力量を削減し省エネ効果もあげています。



飛散防止フィルム

● 車内非常通報ボタン

具合の悪いお客さまや車内の異常を乗務員に知らせる装置で、車両連結部付近や窓の横、車いすスペースに設置しています（位置は車両により異なります）。



※東横線・田園都市線の5000系と2020系、大井町線の6000系と6020系、9020系、目黒線、池上線、東急多摩川線、世田谷線、こどもの国線では乗務員と通話することができます。



ご乗車中、周囲で具合の悪いお客さまがいらっしゃる場合や、車内で異常が発生した場合に押してください。

● 緊急ブレーキ装置

万が一、運転士の体調が急変したときに安全を確保するため、ハンドルから手が離れると自動的に非常ブレーキがかかる装置を全車両に搭載しています。

● 誤開扉防止策・列車の転動防止策

列車が走行中、もしくは動き出した後に扉が開くことがないように、誤開扉防止策と列車の転動防止策の2つの対策を行っています。

▶ 誤開扉防止策

「列車の発車直後に誤ってドアを開ける操作をしてもドアが開かない仕組み」で、全線の車両に導入しています。

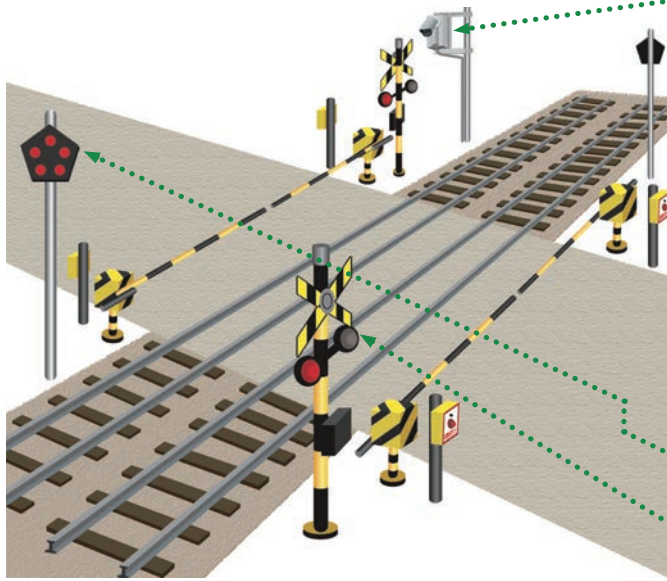
▶ 列車の転動防止策

「ドアが開いた状態で運転士が誤って列車を動かそうとしても動かない仕組み」で、全線の車両^{*}に導入しています。

※こどもの国線を除く

踏切の安全対策

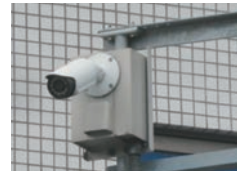
踏切での事故を防ぐために、さまざまな対策を行っています。



踏切監視カメラ

踏切事故の抑止手段、事故発生時の状況確認手段を確立する必要性が高まっていることから、全線*で踏切監視カメラを設置しています。

※こどもの国線を除く



非常ボタン



踏切内に人や車が立ち往生してしまったときなど緊急の場合に、非常ボタンを押すと、特殊信号発光機が赤く点滅して接近する列車の運転士に異常を知らせます。全ての踏切に設置しています。

特殊信号発光機



また、東横線・目黒線・大井町線・こどもの国線では、ATCと連動しているため、接近する列車を自動的に減速させます（田園都市線には踏切はありません）。



非常ボタンは、踏切内に人や車などが立ち往生しているなど緊急の場合に押してください。

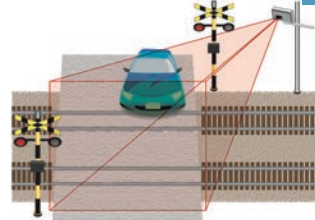
光線式、3D式踏切障害物検知装置

踏切障害物検知装置は、自動車などが踏切で立ち往生した場合にセンサーが検知し、接近する列車の運転士に異常を知らせる信号を送る装置です。当社では、2021年7月に自動車通行禁止の踏切を含む全135か所の踏切*に設置を完了しました。

※世田谷線・こどもの国線を除く

▶3D式踏切障害物検知装置の導入

当社では、障害物の検知精度が高い3Dセンサーを使用した装置を2022年4月1日時点で95か所の踏切に設置済です。引き続き3D式踏切障害物検知装置の導入を行っています。



3D式踏切障害物検知装置の検知イメージ

警報灯

通行する車や人が踏切から一定の距離以上離れていても視認できるように警報灯を設置しています。視認性の向上施策として、車のドライバーから見えやすい全方位警報灯を一部の踏切道に導入しています。



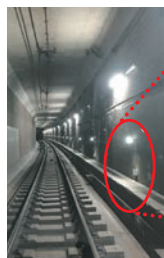
一部の踏切道に導入している全方位警報灯

地下トンネル区間の安全対策

列車が地下トンネル区間内で緊急停止した際、安全に避難できるように対策を行っています。

● すいどう 隧道照明の増設

お客さまが避難のためにトンネル内を歩行する際、足元を確認しやすいよう照明を増設しています。



隧道照明

〈増設区間〉

東横線：自由が丘駅～多摩川駅
田園都市線：渋谷駅～二子玉川駅

● 蓄光看板

トンネル区間において、蓄光式の案内板を設置しています。これにより異常発生時に照度が限られた状況においても隣駅までの距離が分かり、お客さまを安全に駅まで誘導できます。

〈設置区間〉

東横線：渋谷駅～代官山駅間、東白楽駅～横浜駅間
目黒線：目黒駅～洗足駅間
田園都市線：渋谷駅～二子玉川駅間、つきみ野駅～中央林間駅間
池上線：戸越銀座駅～旗の台駅間
東急多摩川線：多摩川駅付近～沼部駅間



蓄光看板